

図書館だより



休館日…毎週月曜日、10月7日(木)、12日(火)

◆赤ちゃんとお楽しみわらべうたの会

わらべうたで楽しく遊びましょう。赤ちゃんにおすすめの絵本の展示や紹介もします。

日時…10月20日(水) 10時～11時 会場…八日市場図書館 2階和室 対象…生後6か月から2歳未満児と保護者 募集定員…15組

◆八日市場図書館「おはなし会」

日時…毎週土曜日 15時から約30分間

ホームページ<http://www.library.sosa.chiba.jp>

☎八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

「東総短歌会小史」発刊

東総短歌会では今年8月、同会の歴史などをまとめた「東総短歌会小史」(Ⅱ)



写真を発行しました。この冊子は、八日市場図書館、のさか図書館で閲覧できます。閲覧希望の人は図書館職員におたずねください。

☎同会事務局・土屋耕一 ☎72-1054

市政の窓

No.7



残暑も厳しいものがありました。水稲の収穫も終わり朝夕の風が心地よく感じてきました。スポーツの秋到来。国内最大のスポーツの祭典「ゆめ半島千葉国体」の開幕です。弓道競技の開催に併せ、マリンスタジアムでの総合開会式での天覧演技に特別参加。忙しい中、幾多の合同練習を経て、約千名の参加者による

いざ開幕

「八重垣神社」の囃子・御輿のお披露目を、地井武男観光大使の拍子木の合図で一糸乱れぬ堂々たる演舞を全国にPRすることができ、大変嬉しく思っております。関係各位に厚く御礼申し上げます。

の歓迎装飾など、大勢の市民の皆さんのおもてなしのご協力に、心から感謝いたします。熱き戦いは4日間展開されます。特に地元匠瑛高校の生徒が出場する「少年男子・女子の部」に注目をしていただくとともに、千葉県代表選手を始め全国から訪れた選手や関係者の皆さんに温かい声援を送ってください。競技会場へぜひ足をお運びください。「ゆめ半島千葉国体」の成功に向けて力強いご協力をお願いいたします。

匠瑛市長 太田安規

文芸コーナー

短歌

土屋 耕一 推薦

盆近く枕辺に立ちし亡き父は笑みつつ幼き我を抱けり

若潮町 伊藤登美枝

宮本に生れしわが身血の騒ぐ夜毎聞こゆる祭囃子に

八日市場イ 木島 仁美

田町区に卒寿迎へし友四人、三人は逝きて我ひとり生く

八日市場イ 大川 八重

嫁ぎ来て野良に泣きたる日も遠く今健やかに老いを重ぬる

平木 大木ヨシ子

はぐら瓜母と種取る幼き日思い出しつつ今日も漬けをり

安久山 木下 昌子

取りに來い鰹大漁の銚子港大漁旗が目に残る夢

荻野 川口 登喜

夕庭の色取りどりに咲き誇る白粉花に寄りて触れたり

高 石井 房代

万年青とはよくも名付けりいつも青水やる吾もあやかたしよ

生尾 中島 静代

昼の暑をしづむる如くちろ鳴き五位ゆく空は十三夜月

今泉 熱田千代子

緑濃き葉陰に熟れし大きトマト朝日に色のかがやきを増す

野手 伊橋 良子

これ位の暑さ厭ふとは何事ぞ九十歳叔母の声きりりとす

野手 石田 秀子

青春を挺身隊にはげみし日々我が人生に尊しと思ふ

野手 佐藤 晃子

俳句

西野 棠雨 推薦

秋の雨音を沈めて杉の山

若潮町 光瀬甲江子

つながりと発展

見徳寺と照範

匠探訪

— 53 —



見徳寺境内にある地藏菩薩像

図書館主催の歴史ウォークで成田山新勝寺（成田市）を訪ねました。新勝寺の本尊不動明王は、関東三大不動として古くから信仰を集め、全国的によく知られています。

この成田のお不動さんが一躍脚光を浴びるようになったのは、およそ300年前の江戸時代中期からです。1700（元禄13）年に新勝寺の住職となった照範は、1703年に江戸深川（現在の東京都江東区）永代寺で初めて本尊不動明王の出開帳（＝出張の

御開帳）を行いました。照範は佐倉藩主稲葉氏らの信頼と援助を得て、深川出開帳の時に本尊を江戸城中に入れ、5代將軍綱吉の母・桂昌院の参拝を受けました。

この照範と八日市場村見徳寺住職との間には深いつながりがあったようで、このことが同寺の歴史に大きな影響を与えたようです。

初めての江戸出開帳の前年・1702年9月14日から23日までの10日間、見徳寺境内で巡行出開帳があったとさ

座する銅造・地藏菩薩像を完成させました。同年11月23日から5日間、開眼供養という儀式が近隣寺院から住職を招いて行われましたが、成田山の照範も参加しています。

この像の造立費用は、八日市場村の古作氏をはじめとする同村の人たちや富谷、籠部田、米倉、横須賀、宮本、平木、椿村など近隣の村びと、江戸町人からの寄付があてられました。

新勝寺が照範の代に飛躍的な発展を遂げた時期に、見徳寺も新勝寺と同じく本寺を京都嵯峨大覚寺に変えたり、檀林格の取得など寺格式の向上が図られた背景には、照範の助力があったのでしょうか。

新勝寺の出開帳は江戸時代に12回行われ、うち1回は1809（文化6）年に見徳寺で行われました。これは同寺本堂が2年前に完成し、その費用捻出のためと考えられます。

「大浦ごぼう」が佐倉藩主や諸大名に献上されたのが照範の住職時のこととされ、これも新勝寺と見徳寺との関係の深さの表れかもしれません。

問 八日市場図書館 ☎ 73・3746

早稲の香の湧き立つてゐる遠筑波
朝刊と仁丹を買ふ秋微雨
秋雨や待合室の話こそ
ひまわりの吐息も聞こゆ午後の二時
今日も亦残暑ひきずり夜の帳
朝顔や左千夫旧居の古籬
新菓の匂い漂う牛舎かな

八日市場ハ 大川 宣子
上谷中 八木佐久司
飯塚 及川 春子
横須賀 岩井 やす
八日市場イ 平山 もと
春海 浜野 隆志
八辺 依知川きよ

川口 城司 推薦

刈り終へし稲田に残る熱気かな
椋鳥一羽おくれて向かふ夕あかね
暑かりし覚えあるのみ敗戦忌

栢田 伊藤 定子
堀川 高野 操
栢田 櫻井富実雄

川柳

高梨 果宝 推薦

苦勞して育てた子等に支えられ
苦も染もみんな呑み込み五十年
現代子苦よりも樂をとりたがり
下積みの苦勞報われ主役の座
今の幸過去の苦勞を嘯みしめる
苦の中の樂は私の救い主
大店が万歳をして土地を去り
落盤の地下から届く生きた声

川口 城司 推薦

無理しないペースでゆっくり歩行する 川 辺 加瀬 きよ

匠探訪

あて先： 匠瑤市秘書課広報広聴班

〒289-2198

匠瑤市八日市場ハ793番地2

☎ 73・0080 FAX 72・1114